

第4回ワークショップを開催しました

総勢33名の方が参加されました

第5次川西市総合計画策定に向けた川西まちづくりワークショップの第4回が10月8日に開催され、総勢33名の方が参加されました。

4回目のワークショップであるにも関わらず、これまでと変わらず活発に議論が行われました。



第4回は「助け合う」「尊ぶ」「関わる」のライフシーンごとに議論を行いました

川西市の現状(強み・弱み) 将来ありたい姿、将来ありたい姿を実現するためにそれぞれが担えそうなこと、目指すべきまちのキャッチフレーズを「助け合う」「尊ぶ」「関わる」のライフシーンごとに分けて議論を行いました。

1班



概要				
	将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
助け合う	●若者の参加を増やす	●将来を担う若者が元気になるばまちも元気になるから	●イクメンネットワーク 等	・世代を超えていきいきと!
助け合う	●シニア層が活躍できる社会	●高齢者が増えその人達がいきいき暮らしていける社会になるように	●若者は慌ただしいとの自覚をシニア層が持つ 等	
尊ぶ	●尊ぶ気持ちのある人を増やす	●助け合う社会を形成するため 等	●(市民は)お互いを認め合う気持ち考え方を育てる 等	・お互いを認め合いおもいやりのあるまち
関わる	●税金に対する意識を持つ	●社会組織の基本だから 等	●市の職員は税金に対する意識が高くなっているが、市民に低い人がいるので厳しく財政の話をする 等	・限りある税金をより有効に
	●民意をくみあげて取捨選択して計画づくり	●効率的に運営していく基本だから	●行政まかせでなく市民も行政にもっと関心を持つ 等	

2班



概要				
	将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
助け合う	●地域内の情報共有を増やす	●地域活動への参加を促すため 等	●フリーペーパーを作る 等	・味噌を貸し合えるまち
	●地域の方が和んで集いあえる雰囲気作り	●地域のつながりが希薄になっているため	●離れている人を極力誘い込む(声かけ運動)	
尊ぶ	●人権尊重の姿勢は今後も貫きたい	●現状で子どもや高齢者の人権が尊重されているため	●地域にある学校への関心を高める 等	・ひとりぼっちにならないまち
	●世代間で交流できる機会や場所をつくる	●同世代間の交流は活発だが異世代間の交流がないため	●自分の持っている技能を教える講習会を開催する 等	
関わる	●情報発信の充実	●HPが実務的 等	●川西を好きになる、川西に興味を持つ 等	・市民と行政が相思相愛のまち
	●市民の声をもっとひろってほしい	●市民が自分の意見を言える場所がない	●このようなワークショップのような市民の声を取り入れる場所を作る)	

3班



概要				
	将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
助け合う	●対財力を活かした市民活動の精通	●全市民に行き渡っていないから	●諸々の市民活動に積極的に参加する 等	・市民活動の活発なまち
尊ぶ	●人権意識の向上	●良くなったとはいえまだまだ意識向上が必要だから	●お互いを尊重し合う 等	・一人ひとりの人権が尊ばれるまち
	●男女共同参画意識の向上	-	●女性の立場を理解する 等	
関わる	●行政と市民のコミュニケーション	●情報公開は進んでいるが市民の意見を直接姿勢に反映させたいから	●行政への関心を持つ 等	・市民と協力して行財政改革を進めるまち
	●更なる行財政改革を	●行財政を豊かにしたいから	●中高年世代が起業 等	

4班



概要		将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
助け合う	●助け合うための地域の組織づくり強化	●しっかりした自治会組織等を維持し各地域化を防ぐため	●地域コミュニティーへの参加等	●地域の組織力の強いまち	
助け合う	●ボランティア・NPOの充実とPR	●全ての年代の人にボランティア・NPO活動に関わってもらうため	●活動への参加とニーズの洗い出し		
尊ぶ	●次世代への伝承	●多様な文化を川西の特徴として伝承するため	●子ども達と一緒に川西の文化歴史を学び創造し次世代へ伝承する等	●世代を超えて多様な文化伝承できるまち	
尊ぶ	●高齢者を尊重できるまち	●高齢者が生きがいを持って生活し、地域での居場所が必要	●三世代交流を図る		
関わる	●行政職員のレベルアップ	●市民への正確な情報提供を行うため	●川西中央北地区の開発についてもっと市民代表の意見を参考にしてもらいたい等	●信頼できるまち～正確な行政情報のもとで市民活動～	
関わる	●若者の活動できるフィールドがある	●市内外問わずの若者、学生が市内で活動できる	●若者が活動できる場を準備・提供する等		

5班



概要		将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
助け合う	●小さな親切が広がるまち	●地域間の偏りがあるから等	●地域活動（自治会など）に積極的に参加する等	●小さな親切があふれるまち	
助け合う	●声がけをしあえる町	●孤立化している部分があるから等	●困っている人に声をかける等		
尊ぶ	●思いやりが花ひらくまち	●相手（とくに弱者）への思いやりが社会の土台だから	●謙虚な心を持つ等	●思いやりが花ひらくまち	
尊ぶ	●男性も女性もいきいきと暮らせる川西市	●男女共同参画の推進がまだ進まないから	●男女共同参画に関する講座などに積極的に参加する等		
関わる	●ユニバーサルデザインのまち	●川西市のデザインが見えてこない	●優秀な市職員、教員を採用する等	●市民一緒に納得しながらまちづくり等	
関わる	●“誇れる町”をビジョンに掲げる	●“特徴のない町”からの脱却を計る	●市民の知恵エネルギーを引き出す施策等		

第4回を振り返って

ライフシーンごとに将来像が出されました

各班、活発な議論が行われ、様々な視点からの意見が出されました。

「助け合う」については、声のかけあいなど「人と人とのつながりづくり」についての意見や、市民活動の新たな担い手の確保など「市民活動の活性化」についての意見が多く出されました。

「尊ぶ」については、子どもや高齢者などに対する「思いやり」の意見や「男女共同参画の推進」についての意見が出されました。

「関わる」については、計画づくりなどに市民の意見を反映させてほしいなど「市民の参画」についての意見や税金の有効活用など「行財政改革」についての意見が多く出されました。

全4回議論いただきありがとうございました

みなさんで議論いただくワークショップはとりあえず今回で終了です。長期間ご参加ありがとうございました。みなさんから出していたいただいた意見は、大切に、総合計画の策定を進めていきます。

なお、これまでご案内している通り、番外編として、第5回のワークショップを開催します。まだまだ議論に参加したいという方は是非第5回ワークショップにご参加ください。

ふりかえりアンケートから

「ふりかえりアンケート」の中からのご意見をいくつかご紹介します。

主な意見

<全4回を通じた感想>

- ・ 毎回前回の問題点を踏まえて、すすめ方を改善する工夫があったのはよかったです。
- ・ 4回ともボリュームが大きすぎ。手法の再考を。
- ・ テーマが難しいのと、時間があまりないので、表面的な話になってしまった気がします。
- ・ 世代を越えて色々な方とお話が出来、いろんな考え方、自分の知らなかった事が発見できて非常に良かったです。
- ・ 興味や関心のあるテーマを掘り下げる形式もあった方がよいのではないのでしょうか。

<総合計画を策定していくにあたっての意見>

- ・ 多くの意見が出ているので、その意見が反映され、少しでも良い結果が出ることを願う。
- ・ 本ワークショップで議論されたことは是非重く受け止めて欲しい。わからない、難しいことであれば、参加者に聞いて欲しいです。
- ・ (参加者に)フィードバックをして欲しいです。

